



Q1. ・未知の領域に踏み込むことへの考え方はどうか？

A. 内山) ・未知の領域がプルトニウムを指すなら、
未知の領域ではない
・一般に科学には未知の領域への挑戦が含まれる
伴) ・科学技術にはプラスとマイナス面があり、
マイナス面を管理して行くべき



質疑応答

Plu-thermal

Q2. ・プルトニウムは現在、原子炉でも燃えている。
MOXにすると暴走するののか？

A. 伴) ・現在でも1%だが、数%になると暴走する
おそれが増える

内山) ・現状の対応策で、十分に対応ができる



Q3. ・使用済みMOX燃料の貯蔵期間や安全性はどうか？

A. 伴) ・40年くらい貯蔵される
・貯蔵プールの水が抜けた場合は燃料溶融の危険がある

内山) ・今の貯蔵プールで十数年対応できる
・プールの水漏れは現実には考えられない
・国の方針で第二次再処理工場を建設しそちらへ持っていく計画となっている

電力) ・貯蔵容量は十分、10年程度
・発電所に長期貯蔵はしない



Q4. ・使用済みMOX燃料は再処理するのか？
また、自然は設計の想定を超えるのではないか

A. 伴) ・検討は決まっているが技術もコストも困難そうである
・耐震設計についても懸念は残る
・同時多発的トラブルが懸念される

内山) ・余裕をもった設計で対応できる
・再処理工場の設計についても対策を講じている



質疑応答

Plu-thermal

Q5. ・電源開発に譲渡した分を考慮すると、どの程度
運転できるか？

A. 伴) ・燃料としては20体分くらいではないか

内山) ・プルサーマルはオールジャパンで考えて
いる政策で、各社協力し合っている

電力) ・毎年0.2トン程度使っていく



Q6. ・当面は使用済み燃料を一時保管し、
最終処分場などが整ってから進めてはどうか？

A. 内山) ・技術の信頼性を高めるために、先送りせず
継続的な努力が必要であり、次世代への
責任と考える

伴) ・再処理工場がうまくいかないことを考え、貯蔵
計画を考えるべき



Q7. ・科学的実証試験をなぜ行わないのか？

A. 内山) ・世界全体の実績から実証はされている

伴) ・私はプルサーマルをやめようという立場
・進めるなら慎重に



まとめ

Plu-thermal

伴) ・再処理工場の状態を含めて、プルサーマル計画全体を、もう一度再処理が必要か検討を望む

内山) ・エネルギーの安定供給が必要
・そのためにプルサーマルは必要
・技術開発を推進することが必要